

ディクチオカ フィブラ (旧: シャットネラ グロボーサ (球形シャットネラ))

赤潮生物種: *Dictyocha fibula* var. *stapedia* (E. H. P. A. Haeckel) Lemmermann

= *Chattonella globosa* Y. Hara & M. Chihara

ディクチオカ藻綱ディクチオカ目ディクチオカ科



左: 有骨格細胞の骨格 右: 無骨格細胞

- 大きさ : 基環長さ約30 μm (有骨格細胞), 直径約40~55 μm (無骨格細胞)
- 細胞の形態・色 : 細胞質内に菱形の珪酸質の骨格からなる基環があり, その角から放射棘が出る。生活史の中で骨格を持つ時期と持たない時期があり, 形態が大きく変化する。無骨格細胞は, 体全体が粒状のもので構成されるように見え, 体は黄褐色, 単細胞, ほぼ球形で, 活性が弱くなると周りから色が抜け始め, 紡錘形に近くなる。
- 遊 泳 : あまり回転せずに, ゆっくりと泳ぐ。
- 類似種 : 有骨格細胞では, 似ているものはない。無骨格細胞は, ディクチオカ スペキュルムの無骨格細胞と類似するが, 本種は細胞中心付近に色素を持つ点で区別できるとされている。
- 赤潮発生時期 : 鹿児島湾では例年4~5月にほぼ全域で数十cells/ml出現する。
- 赤潮発生海域 : 鹿児島湾
- 出現環境 : 18~22°C前後
- 被 害 : 2015年5月に鹿児島湾でシャットネラ マリーナ, ヘテロシグマ アカシオとの3種混合赤潮が発生し, 養殖カンパチ等に被害が発生した。
- 特記事項 : 鹿児島湾では春に数細胞~数十細胞/ml程度有骨格, 無骨格ともに普通に見られる。従来球形シャットネラと呼ばれていたシャットネラグロボーサは, 高野ら¹⁾がDNA配列を解析した結果, *Dictyocha fibula* var. *stapedia*と一致し, 本種の骨格を持たない細胞であることが分かった。

文献

1) 高野義人・山口晴生・坂本節子・山口峰生 (2007) ; *Chattonella globosa*は*Dictyocha*属だった! *C. globosa*・*Dictyocha*属の分子系統学的研究-, 藻類, 55(1), 71p.